

令和8年6月19日

令和8年度発生予察 特殊報 第1号 (概要版)  
群馬県農業技術センター (病害虫防除所)

特殊報を發表します。

「タマネギ」で「ネギネクロバネキノコバエ」を県内初確認

## 1 概要

県中部地域のタマネギほ場において、タマネギを加害するネギネクロバネキノコバエの幼虫を県内で初めて確認しました。

- ・確認した時期 : 令和8年5月
- ・確認した地域 : 県中部地域
- ・確認した加害部 : 茎盤および茎盤付近の鱗葉  
※可食部下部。  
※図1を参照してください。

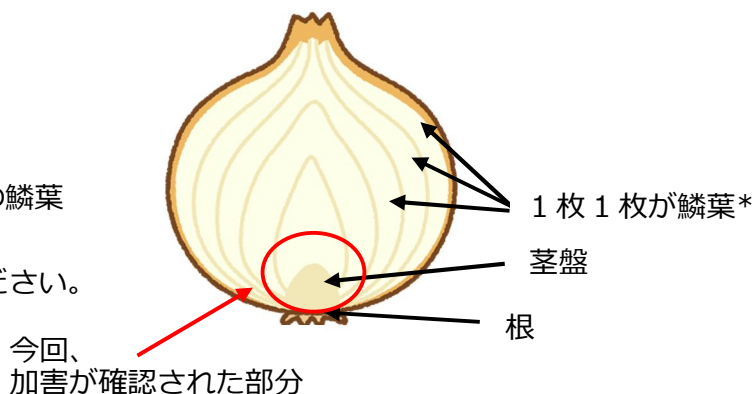


図1 タマネギの部分ごとの名称

\* 鱗葉：タマネギの可食部を構成する白色の組織です（一般植物の葉に該当）。

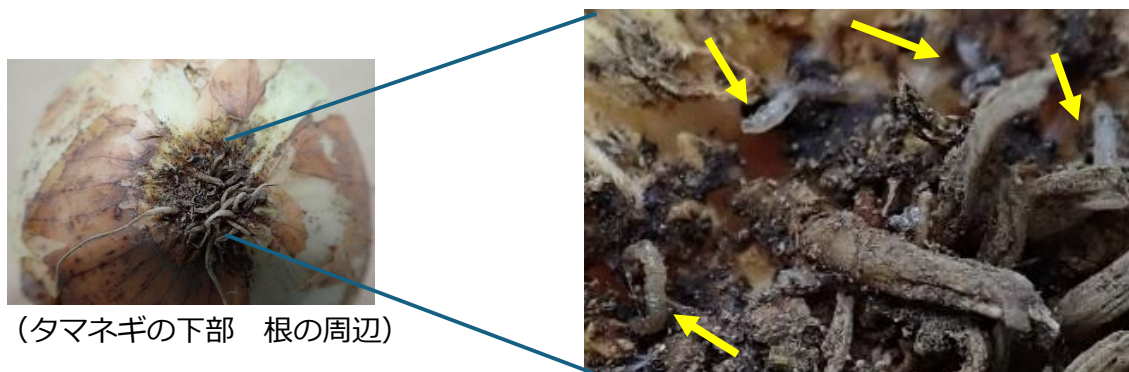


写真1 タマネギを加害するネギネクロバネキノコバエの幼虫  
黄色矢印：ネギネクロバネキノコバエ幼虫

## 2 被害の特徴

- ・栽培中のタマネギでは、幼虫が可食部下部の茎盤および鱗葉を加害します（図1、写真1）。
- ・幼虫の加害による地上部への影響は現在のところ不明です。  
そのため、地上部の観察のみでは、被害の有無を判断することは困難です。

防除対策、形態などは次のページ



### 3 防除対策

#### (1) 植え付け前

- ・明渠や排水路を設置し、ほ場が過湿とならないようにしてください。
- ・堆肥は完熟したものを使用し、多量施用を避けてください。

#### (2) 収穫後

- ・被害残渣は、分散しないよう注意し、ほ場外で適切に処分してください。
- ・ほ場内の残さは、石灰窒素（60kg/10a）を施用してすき込み、腐熟を促進するなど処理を徹底してください。
- ・可能であれば、土壌消毒を実施してください。

#### (3) その他

- ・本種はタマネギのほか、ネギ・ニンジン・ニラや雑草にも寄生します。周辺作物の防除および除草の徹底に努めてください。
- ・現在、タマネギにおいてクロバネキノコバエ類に登録がある薬剤はありません（令和8年6月19日現在）。

### 4 形態

- ・成虫（写真2）の体長は、雌雄ともに2～3mm程度です。
- ・幼虫（写真3）の体色は白色を帯びた透明で、黒色の硬い頭部を持ちます。老熟幼虫の体長は4～6mm程度です。

### 5 国内の発生状況

- ・タマネギにおけるネギネクロバネキノコバエの発生は、国内で初めて確認されました。
- ・群馬県ではネギおよびニラ、埼玉県ではネギおよびニンジンで発生および被害が確認されています。



写真2 ネギネクロバネキノコバエ成虫  
体長は2～3mm  
左：オス 右：メス



写真3 ネギネクロバネキノコバエ幼虫  
老熟幼虫の体長は4～6mm